

江戸文化研究会

9月以降の行事予定

第76回	講演会「江戸庶民の入浴文化」 ～「江戸庶民がいかにして 銭湯を愉しんでいたか」を 具体的な例を挙げて説明します～	9月 20日(土)	文京総合 福祉センター 江戸川橋4階 視聴覚室	9月 12日(金) 締切	2/5
第77回	講演会「江戸の賈銘柄酒」	10月 26日(日)	文京総合 福祉センター 江戸川橋4階 地域活動室	10月 17日(金) 締切	3/5
第78回	浮世絵講座「歌麿～寛政の美人～」	11月 8日(土)	文京総合 福祉センター 江戸川橋4階 地域活動室	10月 25日(土) 締切	4/5
第79回	講演会「江戸時代の人形飾り」 ～『御誕生人形』を事例として～	12月 別途 お知らせ	別途お知らせ	別途お知らせ	4/5
第80回	初春歌舞伎鑑賞会……演目等未定	2026年 1月 17日(土)	新国立劇場 中劇場	別途お知らせ	5/5

※ 参加申込み要領

- ① 監査懇話会メンバーの方は、懇親会参加の有無を含めて担当世話人宛てにメールでお申込み下さい。
- ② 監査懇話会メンバー以外の方は、下記情報を明記の上 当会申込窓口宛にメールでお申込み下さい。
(会場の制約等の事情により、ご参加をお断りする場合がありますことを予めご了承ください。)

<申込窓口>

edobunka@outlook.jp

<申込メール記載事項>

- ・ お名前(フリガナを付記して下さい)
- ・ 所属団体名・会社名等……退職した方は旧・勤務先名等
- ・ 参加希望日程・及び 行事名
- ・ 懇親会参加の有無
- ・ 緊急連絡用 携帯電話番号
- ・ 電子メールアドレス

一般社団法人 監査懇話会
江戸文化研究会

https://kansakonwakai.com/cultural_activities/edobunka-kai/

第76回 江戸文化研究会

講演会「江戸庶民の入浴文化」

～「江戸庶民がいかにして銭湯を愉しんでいたか」を具体的な例を挙げて説明します～

日時：9月20日(土) 15:00開講(14:30開場) 16:30閉講予定 17:00より懇親会

場所：文京総合福祉センター 江戸川橋 4階 視聴覚室

講師：(一社)日本銭湯文化協会 理事、庶民文化研究所所長 町田 忍先生

和光大学人文学部芸術学科卒業。

在学中ヨーロッパ一周一人旅。

大学卒業後、警視庁麹町警察署に勤務。職員美術展において土田警視總監より表彰。

警察官を退職後、少年時代より収集し続けている商品や各種パッケージなどの風俗意匠を研究するために「庶民文化研究所」を設立。30年以上かけて全国の銭湯を約4000か所訪ね歩き、庶民の記録として写真に収め、映画・テレビドラマなどの時代考証、昭和庶民文化に関しての監修、執筆なども多数を手がける。

全国の「銭湯」の記録を元に「銭湯に行こう」「町田忍の銭湯パラダイス」「銭湯」など著書多数。



内容：誕生以来 800 年、庶民の日常の「浮世の垢」を落とし、憩いの場と人情を育んだ日本独特の入浴文化……「銭湯」。江戸庶民を主対象にジオラマの画像を含めて、日本の入浴文化の特長についてご紹介します。

会費：3,000 円

懇親会：講演終了後、有志による懇親会(4,000 円)を予定いたします。

参加申込時に併せてお申込み下さい。

申込み：懇親会参加の有無を含めて、**9月12日(金)までに** メールにて申し込みください。

世話人：藤間 孝雄



交通アクセス

- ・東京メトロ 有楽町線「江戸川橋」4番出口 徒歩4分
- ・都バス 上69系統(小滝橋車庫前 上野公園《循環》)「石切橋」徒歩3分
- ・都バス 飯64系統(小滝橋車庫前 九段下《循環》)「石切橋」徒歩3分
- ・都バス 上58系統(早稲田⇄上野松坂屋前)「江戸川橋」徒歩8分
- ・B-ぐる 目白台・小日向ルート 6・21番「文京総合福祉センター」徒歩0分



第77回 江戸文化研究会

講演会 「江戸の鴈銘柄酒」

日 時: 10月26日(日) 15:00 開講 (14:30 開場) 16:30 閉講予定

場 所: 文京総合福祉センター 江戸川橋 4階 地域活動室 A+B

講 師: 学習院女子大学国際文化交流学部教授、博士(文学) 岩淵令治先生

(略歴)1966年 東京都に生まれる

1989年 学習院大学文学部卒業

1996年 東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位
取得修了

国立歴史民俗博物館を経て、

現在学習院女子大学国際文化交流学部教授

〔主要著書〕

『江戸武家地の研究』(塙書房、2004年)

『史跡で読む日本の歴史9 江戸の都市と文化』(吉川弘文館、2010年 編著)

『「江戸」の発見と商品化』(岩田書院、2014年(編著))

『近世史を見通す』4(吉川弘文館、2024年 志村洋と共編)

内 容: 江戸の清酒は、上方からの下り酒がかなりの部分を占めており、
剣菱や白雪など人気銘柄も誕生していました。

今回の講演では、こうした人気銘柄を模した鴈銘柄酒の生産・流通をとりあげます。

まず、消費地江戸への酒流通と、生産地による鴈銘柄酒の取締の基本構造を確認した上で、(1)江戸向けの主な生産地であった摂津国・和泉国(現在の兵庫県・大阪府)、(2)後進の生産地であった東海地方、(3)同じく後進の江戸周辺の生産地、(4)江戸の間屋、それぞれについて、鴈銘柄酒の製造の実態をみていきます。

さらに、劣化した酒を直す方法を応用した、特定の有名銘柄酒の味に似せた酒の製造法もご紹介します。

17:00 より懇親会



会 費: 3,000 円

懇親会: 講演終了後、有志による懇親会(4,000 円)を予定いたします。

参加申込時に併せてお申込み下さい。

申込み: 懇親会参加の有無を含めて、**10月17日(金)まで**に メールにて申し込みください。

世話人: 的場 大典

第78回 江戸文化研究会

浮世絵講座「歌麿～寛政の美人～」

日 時: 11月8日(土) **14:30 開講 (14:00 開場)**

16:30 閉講予定 17:00 より懇親会

場 所: 文京総合福祉センター 江戸川橋 4階 地域活動室B+C

講 師: 国際浮世絵学会 常任理事 小池満紀子氏

(経歴) 山梨県生まれ

国際浮世絵学会 常任理事、

中外産業(株)取締役美術品担当

(主要著書=共著)

『広重 TOKYO 名所江戸百景』(講談社 2017年)、

『小原古邨の小宇宙』(青幻社 2018年)

内 容: 小池先生にはこれまで 2回、広重を題材にした浮世絵講座を講演していただきました。今回は、NHK大河ドラマ「べらぼう」に因んで、“歌麿”を採り上げました。

蔦屋重三郎に才能を見出された歌麿は寛政の頃から美人画に力を入れ始め、これまでにない大首絵(半身像)の美人画で一躍脚光を浴びました。「寛政三美人」など数々の名作が残されています。

小池先生には浮世絵美人画の見どころを分かりやすく解説していただきますので、今まで、浮世絵に関心のなかった方にも親しめる良い機会になると思います。

会 費: 3,000円

懇親会: 講演終了後、有志による懇親会(4,000円)を予定いたします。参加申込時に併せてお申込み下さい。

申込み: 懇親会参加の有無を含めて、**10月25日(土)まで**にメールにて申し込みください。

世話人: 窪田 隆



第79回 江戸文化研究会

講演会 「江戸時代の人形飾り」

～『御誕生人形』を事例として～

日 時: 12月……別途お知らせ(日程調整中)

場 所: 別途お知らせ

講 師: 公益財団法人東京都歴史文化財団

東京都江戸東京博物館 学芸員 須田 清香先生

日本女子大学大学院文学研究科史学専攻修了。

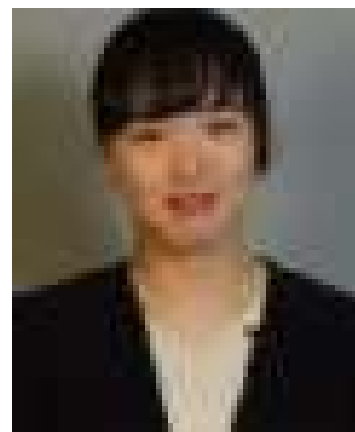
2022年より現職。専門は江戸時代の政治史。

内 容: 古くから人形は、祈りを込める対象かつ心の拠り所になるものとして、人々の生活と密接に関わってきました。江戸時代になると、各地で多種多様な人形が作られるようになります。その中で、作例が少なく貴重なものが「御誕生人形」と呼ばれる人形飾りです。

本講演では、第11代将軍徳川家斉の正室・広大院が、清水徳川家第5代当主徳川斉疆(なりかつ)の正室・充君(たかぎみ)に譲った「御誕生人形」を取り上げ、ここに再現されている江戸時代の出産にまつわる習俗や、江戸城大奥における道具類の継承についてご紹介します。

会 費: 3,000円

懇親会: 講演終了後、有志による懇親会(4,000円)を予定いたします。参加申込時に併せてお申込み下さい。



申込み: 懇親会参加の有無を含めて、世話人あてにメールにて申し込みください。(期限等 別途設定)
世話人: 杉山 通人

第80回 江戸文化研究会

国立劇場初春歌舞伎鑑賞会

＜演目等詳細は未定＞

日時: 2026年1月17日(土)……日程確定・座席確保依頼済

場所: 新国立劇場 中劇場

詳細判明後、改めてお知らせします。